



平成 29 年 12 月 22 日

## 歯科医療のデジタル革命

近年、歯科医療に不可欠な入れ歯やクラウンといった歯科修復物製作を担う歯科技工士の減少が深刻な問題となってきました。歯科技工士の減少は、修復物の製作期間の延長や価格の高騰を招きます。この問題とも相まって、近年では修復物を機械で自動製作する歯科医療のデジタル化が著しいスピードで進んでいます。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の松本卓也教授らの研究グループは、入れ歯の自動製作を目指した新しい装置の開発を進めています。歯科医療におけるデジタル化は、治療方法、修復物製作など歯科医療を大きく変えようとしています。今回はこのデジタル化の進行と歯科医療の未来について、最新成果を交えながら紹介します。

### <背景>

歯科医療は「オーダーメイド医療」の先駆けです。この言葉が使われるずっと以前から、患者個々にあったクラウンや入れ歯といった修復物を製作し治療をしてきました。この修復物製作の担い手は歯科技工士ですが、近年歯科技工士の減少が問題となっています。歯科技工士の減少は修復物製作期間の延長や、修復物価格の高騰につながるため、さまざまな不利益を患者は被ることになります。例えば、合わない入れ歯の患者が新しい入れ歯ができるまでの間、長期にわたって食べ物を食べることができない状態が続くこととなります。これらのことから、歯科で使用する修復物を、機械を使って自動製作する試みが盛んになってきました。

### <研究内容>

松本教授らの研究グループは現在、入れ歯の自動製作を目指した新しい装置の開発を進めています。昨年にプロトタイプが完成し、現在は動作確認と、装置を使って製作した入れ歯の耐久性などを検討しています。

### <展望>

自動製作装置が普及することで、これまでよりも短期間で修復物製作が可能になるとともに修復物の低価格化も期待できます。このような技術の導入が進む結果、新しいデザインの入れ歯普及など、歯科医療全体の大きな変化が予測されています。



## PRESS RELEASE

### <略歴>

1997 年大阪大学歯学部卒業

2000 年大阪大学大学院歯学研究科助手

2003 年-2005 年 ミシガン大学、ハーバード大学客員研究員

2011 年岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授

### <お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

教授 松本卓也

(電話番号) 086-235-6667

(FAX番号) 086-235-6669